

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 3 年 3 月 18 日 (2021.3.18)

【公表番号】特表 2020-508735 (P2020-508735A)  
【公表日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)  
【年通号数】公開・登録公報 2020-012  
【出願番号】特願 2019-543991 (P2019-543991)  
【国際特許分類】

A 6 2 B 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 2 B 35/00 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 5 日 (2021.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自己引込み式落下防止装置であって、  
ハウジングと、  
前記ハウジングに接続された回転可能なドラムと、  
前記回転可能なドラムに取り付けられた近位端、及び前記デバイスのユーザのハーネス  
に取り付け可能な遠位端を有するセーフティラインと、  
を備え、  
前記装置が、前記セーフティラインの状態を感知するように構成された少なくとも 1  
つのハウジング常駐センサによって、前記セーフティラインから発する機械的コマンド信  
号を受信し識別するように構成されたコンピューティングデバイスを備え、  
前記コンピューティングデバイスが、前記機械的コマンド信号を受信し識別すると、  
少なくとも 1 つのアクションを実行するように構成されている、  
装置。

【請求項 2】

前記コンピューティングデバイスが、前記セーフティラインの少なくとも 1 つの引込み  
を含む前記セーフティラインの所定の一連の動きを含む機械的コマンド信号を受信し識別  
するように構成されている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記コンピューティングデバイスが、前記セーフティラインの少なくとも 1 つの伸長を  
含む前記セーフティラインの所定の一連の動きを含む機械的コマンド信号を受信し識別  
するように構成されている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記コンピューティングデバイスが、前記セーフティラインの少なくとも連続した交互  
の伸長及び引込みを含む前記セーフティラインの所定の一連の動きを含む機械的コマンド  
信号を受信し識別するように構成されている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記コンピューティングデバイスが、前記装置の前記ハウジングの制動機構の少なくと  
も 1 つの係合を含む機械的コマンド信号を受信し識別するように構成されている、請求項  
1 に記載の装置。

## 【請求項 6】

前記コンピューティングデバイスが、前記装置の前記ハウジングの前記制動機構の所定の一連の連続した交互の係合及び係合解除を含む機械的コマンド信号を受信し識別するように構成されている、請求項 5 に記載の装置。

## 【請求項 7】

前記コンピューティングデバイスが、以下のアクション：前記コンピューティングデバイスを待機状態から準備状態に変更すること、前記コンピューティングデバイスを準備状態から待機状態に変更すること、前記コンピューティングデバイスの自己チェックを実行すること、時間イベントを記録すること、前記装置のユーザの動作及び／又は状態を記録すること、並びに環境パラメータを監視すること、のうちの少なくとも 1 つを実行するように構成されている、請求項 1 に記載の装置。

## 【請求項 8】

自己引込み式落下防止装置の動作方法であって、

前記自己引込み式落下防止装置の回転可能なドラムに取り付けられた近位端、及び前記装置のユーザのハーネスに取り付け可能な遠位端を有するセーフティラインから発する機械的コマンド信号を受信し識別することと、

前記機械的コマンド信号を受信し識別すると、少なくとも 1 つのアクションを実行することと、

を含む、方法。